

献立ひとくちメモ

3月12日(火)



タイのお話です。

タイは国名を「タイ王国」といいます。首都はバンコクで、東南アジアのほぼ中央に位置し、国境をミャンマーやラオス、カンボジア、マレーシアと接しています。南北に細長いタイでは、地域によって食べ物もさまざまです。北部ではマイルドな味が多く、鶏肉を炭火焼きにした「ガイヤーン」や、青パパイヤのサラダ「ソムタム」などがあります。南部ではスパイスを使った辛い料理が多く、ピーナッツを加えた「マッサマンカレー」などが有名です。

ガパオライスとは、タイ料理の一種である「パッガパオカイ」をもとに、日本人が食べやすいようにアレンジした料理です。

「ガパオ」とはハーブの名前で、バジルの一種のことです。

「ヤムウンセン」とは、タイで食べられている辛くて甘酸っぱいタレがかかった春雨サラダのことです。タイ語でヤムは「和える」、ウンセンは「春雨」という意味です。